

事業番号	11 03 02	事業改善シート（令和2年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	安全・安心な道路環境対策事業					部局	建設部	課・室	道路管理課
						実施期間	S30～	E-mail	michikanri@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)									
8つの重点目標	インバウンド需要を取り込み観光消費額を増加								
総合的に展開する重点政策	3-5 市街地の活性化と快適な生活空間の創造					3-7 先端技術の積極的な活用・導入			
	4-4 生命・生活リスクの軽減								



## 1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】
	○安全安心な道路環境を確保するため、道路の経年劣化に対する適切な維持管理が必要。 ○冬期間は、積雪・凍結により、危険が増加するため、安全で円滑な交通環境を確保するため、除融雪が必要。また積雪地域の防雪施設等のハードの整備が必要。 ○道路内の電柱は、災害時の倒壊が緊急輸送道路確保や、良好な景観の阻害となっている。 ○道路への落石等の危険箇所解消のため、防災施設等の設置が必要。 ○通学路の緊急合同点検により、県管理道路において安全対策が必要な箇所があり、早期の対策が必要。
	【目指す姿】 ○道路施設の状況を把握し、計画的及び日常の補修を効率的に行い、既存施設を有効に活用し快適な道路環境の確保を図る。 ○長寿命化修繕計画に基づき、橋梁・トンネル等道路施設の修繕を行い適切な維持管理を図る。 ○適正な除雪体制を整え、効率・経済的な除融雪を行うとともに防雪・消雪対策により、冬期間の安全・円滑な道路交通の確保を図る。 ○緊急輸送道路や、景観を重視する観光地等において障害となる電柱をなくすため、範囲を決め計画的に無電柱化を推進する。 ○落石等災害の危険性が高い箇所について、落石防護柵などの防災対策施設を整備し、道路災害の発生を未然に防止する。 ○通学中の児童等の交通事故をなくし、安全に暮らせるための交通環境の実現を目指す。
【実施内容】	
橋梁修繕、除雪、スノーシェット整備、電線類地中化、落石対策、交通安全対策など	

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]							No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	目標値	達成状況	事業コスト	区分(単位:千円)	R1年度	R2年度	
															前年度繰越	15,630,025	15,647,147	
															現計予算	31,675,380	42,161,453	
															合計(A)	47,305,405	57,808,600	
															うち一般財源	11,056,800	13,097,125	
															決算額(B)	31,658,258	36,425,697	
															職員数(人)	206.28	206.28	
1	早期に対応が必要な橋梁の修繕実施箇所数	202/264 (76.5%)	222/264 (84.1%)	↑	264/264 (100%)	↑	237/264 (89.8%)	達成										
2	通学路緊急合同点検の要対策箇所の完了数	478/546 (87.5%)	493/546 (90.3%)	↑	508/546 (93.0%)	↑	497/546 (91.0%)	達成										
3																		
4																		

成果指標設定理由	①橋梁長寿命化修繕計画の「ランクⅠ橋梁」の進捗率を、89.8%まで向上させる。(237橋/264橋) ②通学中の児童等の事故をなくすため、平成24年度に実施した緊急合同点検結果に基づく要対策箇所の完了数を成果指標に設定。
----------	---

達成状況の分析	①長寿命化修繕計画に基づき修繕を行ったことにより、目標を達成し、安全な通行を確保することができた。 ②丁寧な用地補償交渉を実施したことにより、用地補償が円滑に進み、対策工事が実施できた。
---------	--

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 道路施設の修繕及び適切な維持管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・橋梁長寿命化修繕計画に基づく修繕(交付金による橋梁修繕実施箇所74箇所)</li> </ul> </li> <li>✓ 安全に暮らせるための交通環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路緊急合同点検による要対策箇所の改良整備(対策完了15箇所)</li> </ul> </li> <li>✓ 外国人にもわかりやすい案内標識の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪日外国人にもわかりやすい案内標識の整備(案内標識のナンバリング79枚)</li> </ul> </li> <li>✓ 自転車の活用による地域づくりの促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・Japan Alps Cycling Road構築事業による、自転車通行空間の整備(舗装補修1.5km、路面標示3.4km)</li> </ul> </li> </ul>	 <p>ピクトグラム付案内標識整備</p>  <p>サイクリングロードリニューアル</p>

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	課題等	今後の方向性
	道路施設の老朽化に伴う維持管理費用の確保	定期的に道路施設の点検を実施し、長寿命化修繕計画に基づく予防的な修繕を行うことにより維持管理費用の縮減を図る。

事業番号	11 03 02	細事業一覧（令和2年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	安全・安心な道路環境対策事業		部局	建設部	課・室	道路管理課

細事業No.	細事業名		R1年度 決算	R2年度 決算
1	舗装補修費、橋梁補修費、除雪費、交通安全施設費、道路橋梁維持修繕費、県単道路防災費他		31,658,258 千円	36,425,697 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	舗装補修工事	直接	大規模な劣化箇所への補修工事を実施した。 (伊那市中央区～福島 外 87箇所)	
2	橋梁補修事業	直接	橋梁長寿命化修繕計画等に基づき、緊急性の高い橋梁等について、補修設計、修繕及び架替工事を行った。 (今村橋 外 283橋)。	
3	災害防除道路事業	直接	落石等危険箇所の落石防護柵等防災施設の設置工事を行った。 (天龍村神原 外 149箇所)	
4	雪寒対策道路事業	直接	スノーシェッド・堆雪帯等の設置工事を行った。 (野沢温泉村虫生 外 13箇所)	
5	除雪事業	直接	県内一円において、除雪計画書に基づく除融雪作業を実施した。	
6	交通安全施設事業	直接	歩道の整備、交差点改良、道路情報板の設置工事を行った。 (小布施町伊勢町～上町 外 64箇所) 道の駅の駐車場整備、トイレの改修を実施した。 (道の駅ながと 外 7駅)	
7	電線共同溝整備事業	直接	電線共同溝の設置工事を行った。 (伊那市高遠 外 13箇所)	
8	雪寒地域建設機械整備事業	直接	雪寒地域内の除融雪機械の購入の実施。 (ロータリ除雪車：2台、除雪グレーダ：1台、除雪ドーザ：5台、小型ロータリ除雪車1台、凍結防止剤散布車8台)	
9	道路橋梁維持修繕事業	直接	県内一円において、橋梁の比較的小規模な工事や、緊急の修繕工事を行った。 県内一円において、除雪計画書に基づく除融雪作業を実施した。	
10	県単道路舗装事業	直接	県内一円において、凍結深さに対応していない旧舗装構造の箇所を、凍結に対応した舗装構造へと改築した。 電線共同溝の設置に伴う設計や付帯工事を実施した。 (岡谷市本町 外 15箇所)	
11	県単交通安全対策事業	直接	歩道の整備、防護柵の設置、標識の設置を行った。 (松本市寿台 外 83箇所)	
12	県単道路防災事業	直接	落石等危険箇所の落石防護柵等防災施設の設置を行った。 (松本市白骨 外 106箇所)	